

令和6年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	認定 NPO 法人 CLACK		
事業名	大阪府南部の困難を抱える高校生へのプログラミング学習支援		
実施期間	2024年 4 月 1 日～2025年 3 月 31 日		
助成(実績)額	5,000,000 円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
【解決したい課題】 ・7 人に 1 人の子どもが相対的貧困状態であり、貧困が連鎖する状況 ・中高生への早期支援の漏れ・自立を促す支援の不足 【事業の対象者】 生活困窮、ひとり親などの経済的困難、不登校、いじめを受けた経験、外国ルーツ、発達障害などの困難を抱える大阪府南部の高校生 【事業の内容】 ・3 ヶ月間のプログラミング学習支援教室を年 3 回実施し、合計 45 人(1 期 15 人×3 ターム)の高校生に提供する。 ・教室は、平日はメタバース空間を活用したオンライン支援、土曜日は対面にて実施する。 ・企業訪問や奨学金・生活費用・進学に関するキャリア支援や、講師の大学生や社会人エンジニアと接する機会提供する。 ・事前に実施する体験会では、プログラミングに限らず、ドローンや VR 等、日常では触れにくい IT 技術を体験する機会を提供する。(年間 90 人) ・高校生に伴走する大学生講師(各ターム 5 名)には、困難を抱えた高校生の人生が変わるきっかけをつくるための研修(プログラミング、コミュニケーション、問題解決能力、リーダーシップ等)を行う。 ・参加した高校生の経済的自立、精神的自立に将来的につながっていくかを社会的インパクト評価によって測定する。	【プログラミング体験会の実施】 ・実施回数:春季ターム:計 10 回、秋季ターム:計 12 回、冬季ターム:計 12 回 ・参加人数:春季 20 名、秋季 41 名、冬季 19 名 ・実施場所:対面 ・参加人数:80 名 ・内容:プログラミング学習・キャリア教育支援のアウトリーチのため、プログラミング、ドローン、VR 等の日常では触れにくい IT 技術を体験することができる体験会を実施 【困難を抱える高校生に対するプログラミング学習・キャリア教育支援】 ・実施回数:春季ターム、秋季ターム、冬季タームの各3か月間 ・参加人数(出席率): - 春季 15 名(71%)のべ 252 名 - 秋季 15 名(90%)のべ 324 名 - 冬季 15 名(89%)のべ 320 名 ・実施場所:オンライン(メタバース空間)、対面 ・内容:困難を抱える高校生に対して、3 ヶ月間のプログラミング学習支援およびキャリア教育支援(お金・生活・進学について学ぶワークショップ、企業とのキャリアトーク)を実施。 【高校生に伴走支援を行う大学生講師に対する研修】 ・実施日:計 15 日間 ・参加人数:大学生講師 16 名 ・実施場所:オンライン、対面 ・内容:プログラミング学習支援・キャリア支援「Tech Runway」の持続可能な運営体制を構築するため、プログラミング、コミュニケーション、問題解決能力、リーダーシップ等の研修を大学生メンターに対して実施	【プログラミング体験会】 ・プログラミング体験会には春季 20 名、秋季 41 名、冬季 19 名が参加した。体験会に参加した高校生のうち、プログラミング学習支援にエントリーしたのは春季 18 名、秋季 41 名、冬季 18 名で、体験会に参加した高校生をプログラミング学習ハスムーズに繋げることができた。 ・秋季は、コース定員の 15 名に比べて大幅なエントリーとなったが、スタッフによる面談や認知能力テストを通じて、家庭環境、高校生一人一人が置かれている状況をしっかりと把握し、プログラミング学習に参加する高校生を決定した。 ・プログラミング体験会後のアンケートでは、「今回の体験会の満足度を教えてください。」という質問に対し 5 段階評価が各ターム平均 4.7-4.9 となり、満足度が高かった。 ・「プログラミングをするのは初めてだったけど、すごく面白かったし、楽しかった」「緊張してたけど、先生方が優しくフレンドリーなのでとても楽しく理解できた」等の感想があり、高校生と出会う場としての設計がうまく機能したと考えられる。 【プログラミング学習支援】 ・プログラミング学習支援では、生徒から活発に質問が寄せられ、オリジナル作品を制作する際も、アレンジしたい点や目指すイメージを明確に持ちながら取り組んでいた。実際に、生徒が制作した WEB サイトや自作アプリは質が高く、こだわりを持って制作していたことがうかがえた。 ・参加者の完走率は、各ターム概ね 7 割-9 割となっており、多くの生徒がオンライン・対面問わず参加でき、最後まで伴走支援を継続して制作物を完成させることができた。 ・教室の開始前、終了時に生徒の変化を見るアンケートでは、「いろいろな良い素質を持っている。」「自分で目標を決め、その達成のために頑張っている。」などの項目で改善が見られ、生徒の自己肯定感、学習意欲が向上したことが伺える。当団体として生徒の変化が見て取れたとともに、高校生自身も自分自身が「変わった」と感じ取れていることが分かった。

※写真の挿入も可能です。(1～2枚程度)